

21 世紀 COE プログラム 公開講演会

CISMOR Month 2005

日本での生活は、
いかに私の一神教理解を変えたか

講 師

Barbara B. Zikmund
バーバラ・B・ジクムンド
(同志社大学アメリカ研究科教授)

日 時

2005年3月5日 (土) 午後 2:00-4:30

場 所

同志社大学今出川キャンパス 神学館 3階礼拝堂

主催：同志社大学 一神教学際研究センター (CISMOR)
問い合わせ：Tel. 075-251-3972 e-mail:staff@cismor.jp
HP: <http://www.cismor.jp/>

《講師プロフィール》

バーバラ・ブラウン・ジクムンド/Barbara Brown Zikmund
(同志社大学アメリカ研究科教授)

1990年から2000年までハートフォード神学校（米国コネチカット）学長を務める。そこにおいて「アブラハムの宗教（ユダヤ教、キリスト教、イスラーム）」のプログラムを開始。2001年から2005年3月まで同志社大学アメリカ研究科教授としてアメリカの宗教と思想に関する講義を担当。

《講演要旨》

この講演では、一神教の長所（聖書・法に基づいた基礎、人間性の見解、女性の擁護、および宗教の自由）についての新しい認識を要約する。また、非一神教（「多神教」的とは呼ばない）をも評価し、連帯感、謙遜、共同体、美意識、自然、因果、あいまいさ等、日本的視点がいかに自身のキリスト教徒としての信仰を豊かにしたか、その作用を述べる。

CISMOR Month 2005

同志社大学 一神教学際研究センター 公開講演月間

一神教をめぐる現代の課題 —— 異文化理解／メディア／世俗化／起源

現代世界の動向を理解するために必須ともいえる一神教（ユダヤ教・キリスト教・イスラーム）についての認識を深めるため、連続した公開講演会を開催します。多様なテーマを切り口にして、一神教をめぐる課題にアプローチしていきます。

今後の予定

会場：同志社大学 今出川キャンパス 神学館3階 礼拝堂

■ 3月12日（土）午後2時～4時30分

「マスメディアと宗教——日本のマスメディアによるイスラーム世界の報道」

モスタファ・レズラーズィー（前アルジャズィーラ東京オフィス・プロデューサー）

■ 3月23日（水）午後2時～4時30分

「法・道徳・宗教を考える——エジプトの近代化を振り返って」

タラール・アサド（ニューヨーク市立大学教授）

■ 3月31日（木）午前10時30分～午後1時

「一神教による古代イスラエル再考——最近の議論のいくつかの反響」

ピーター・マシーニスト（ハーバード大学神学部教授）